



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

# 豊田こういち レター

Vol.11

## リラ・ポートは、いつになったら再開されるのか?

2002年、約36億円もの税金を投入して建設された  
敦賀きらめき温泉リラ・ポートは、  
18年後の2020年2月5日から休館しています。

「リラ・ポートは、いつになったら再開されるのか?」のご意見を会派でも多数いただいています。「リラ・ポートは再開出来ないものなのですか?」「あれだけの施設がもったいない」と書かれた年賀状もいただいたことを受けて、今回は、リラ・ポートの現状や再開時期について、私が行った一般質問をもとに書かせていただきます。



## 敦賀市は今、何を行っているのか?

前指定管理者が指定取り消しに至った経緯と、何故このような結果になったのか等の原因(指定管理会社・敦賀市・敦賀市議会の問題等)を調査しています。

福井県中小企業診断士協会によるリラ・ポートの適正な運営経費の算定業務(これからの運営体制を考えて必要な経費を算出)を行っています。

適正な運営経費の報告書を精査して、市としてリラ・ポートのあり方を検討します。(3月頃に報告書の提出があり、その後、市としての考え方を固める予定)



2 リラ・ポートの今後について

## 2020年・12月議会の一般質問「リラ・ポートの今後について」

リラ・ポートの早期再開を求めると同時に、13年前の2008年・6月議会の場でリラ・ポートの指定管理者として候補者選定委員会が答申したイワシタ物産株式会社(越のゆ・敦賀店を運営する会社)を否決した敦賀市議会の問題も取り上げました。そもそも、指定管理料(運営費)に問題があったのではないのか?についても追求しました。

リラ・ポートの年間の運営費は、	
2005年度 敦賀市が直営で運営	1億2,295万円
以後、指定管理者が運営	
2013年度 南洋ビルサービス	5,581万円
2014年度 北陸南洋ビルサービス	7,593万円 →事実上の倒産
2019年度 浜名湖グラウンドゴルフパーク	6,940万円 →破産手続き中

当時の敦賀市議会は、運営費が高いという理由で答申を否決しましたが…  
私は、**毎年1億円以上の運営費が必要になると考えています。**

## では、再開はいつになるのか?

3月以降、市がリラ・ポートの再開に向け運営体制等の検討を進め市議会に諮りますが、6月議会にリラ・ポートの議案が上程されたとしても、リラ・ポートの再開は、**早くても今年の秋**になってしまいます。

リラ・ポートの再開については、来月行われる3月議会の代表質問の場で、改めて早期再開を求めています。これからも、リラ・ポートが市民の皆様の憩いの場であり続けるためには、今回しっかり調査等を行うことも重要だと考えています。市民の皆様には、リラ・ポートが長期休館という事態に至ったことについて誠に申し訳ないのですが、何卒ご理解の程よろしくお願いたします。

## ご意見を聴かせてください!!

リラ・ポートは、市民の健康増進や憩いの場として重要な施設ですが、**毎年、多額の税金を投入して運営**することについては、市民の皆様のご理解をいただかなければなりません。ぜひ、ご意見を聴かせてください。



# 2020年・9月議会の一般質問では

## 私からのお願い

障がいのある方の保護者にとって気がかりなことのひとつに、お子様の自立や生活の心配があります。障がいのある方の高齢化や親亡き後を見据えた受入れや対応等、地域の体制づくり、障がいのある方の生活を地域で支えるサービス提供体制の構築を求めました。

## 敦賀市の考え方

市にとって必要性が高い相談、緊急時等の受入れ、体験の機会及び場に対応出来る事業所を確保して、これらの機能を有した地域生活支援拠点として、2020年度末の整備に向け協議を進めていきます。

## 議会終了後には・・・

2月1日から敦賀市栗野地区において、15名の障がいのある方が利用出来るグループホームがスタートしました。開所までの約3ヵ月間、私自身も微力ではありますが、環境整備等のサポートをさせていただきました。



## 9月議会では、一般会計の補正予算案について反対の立場で討論をさせていただきました。

新ムゼウムに関連する予算、オープニングセレモニーや人道の港シンポジウムを含む、合計2,670万円の予算が計上されましたが、私たち党派には、新ムゼウムに関する無駄遣いを、市に改めさすよう多数のご意見が寄せられていましたので、今回の補正予算案について反対させていただきました。その理由等については、YouTube(下記QRコード)で発信しています。



## これまでの議会報告も、ぜひご覧ください



豊田耕一オフィシャルサイトよりご覧いただけます。(下記QRコード参照)

## 編集後記

過去に「学校給食のご飯、味噌汁の回数を週2、5回から週4回に増やしてください!」と、敦賀市在住の保護者、祖父母、子どもたち、568名からの署名を受け取り、一般質問に臨みましたが、今回の議会では、老朽化した学校給食センターの建て替えを再度強く求めました。教育長の答弁は「今後の児童生徒の推移や、自校給食、センター給食等のメリット、デメリット等について検討を進め、2023年には学校給食のあり方について一定の方向性を示したい」というものでありました。今後も、市の無駄遣い等を指摘し、福祉や教育等、市民の生活に直結した大切な事業予算に割り当てよう、しっかり求めていきますので、今後とも、どうか宜しくお願いいたします。



また、議会情報や議員活動の状況等も、積極的に発信していますので、以下のSNSも、ぜひご覧ください。

## 豊田こういちレター Vol.11

2021年2月5日発行  
発行責任：同志会  
編集責任者：豊田耕一

子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員 **豊田 耕一**

〒914-0045  
敦賀市古田刈66-803-2  
TEL.090-7116-9049

日々の取り組みや、思いを毎日更新しています。



YouTubeチャンネル



アメブロ「田舎での子育て」



Twitter @kouiti\_toyoda



豊田耕一オフィシャルサイト

